

インターネットの情報モラル

コンピュータを利用する上で、一般の社会通念と同じようにルールやマナーを守って正しく使用しなければなりません。コンピュータとネットワークがますます便利に浸透している現代において、気軽に利用できるからこそ、他人を思いやる気づかいとネチケット(「ネットワーク」と「エチケット」の造語)を身につけることは、最低限必要な常識と言えます。

インターネット世界は架空の世界ですが、コンピュータの先には必ず人間がいます。マナーやルール、モラルは、現実社会のものと変わることはありません。

いつでも、「現実社会でこうしたらどうなるか」ということを絶対に忘れないでください。

ホームページでの情報収集や日記の発信、電子掲示板での意見交換、電子メールでのコミュニケーションなど、インターネットを介したサービスは、今や欠くことのできないものとなっています。

しかし、便利で楽しいインターネットも、一方ではトラブルや犯罪の温床になっている一面もあわせ持っています。インターネットは新しい情報メディアであり、全体を管理する機構もなく、法整備も追いつかないほど急速に発達しているために、この世界では、自己管理、自己責任が基本です。

他のメディアにはないインターネットの特性をよく理解し、十分に注意を払うことが必要です。

手軽で豊富なインターネットの情報 すべて正しい？

インターネットを利用して世界中で発信される情報量は、もはや計測できないほど膨大で、しかも毎日新たな情報が次々生まれています。

この豊富な情報を簡単に探し出すことができるのでとても便利ですが、ともすると「探し出したものは正しいもの」と思い込む危険性をはらんでいます。豊富な情報の中には、間違った情報、不確かな情報、古い情報、ウソの情報が多数を占めているといってもよいでしょう。

問題は「正しいものと誤ったものが簡単には判別できない」ということです。情報の中から正しいものを選ぶには、それを判断できる眼を養うことが必要です。インターネットで情報を収集する際には、信頼のおけるものであることを確認するために、少なくとも次の確認をするよう習慣をつけてください。

- (1) 情報源を確認できるか？(情報発信者の法人名/個人名、連絡先などを確認する)
- (2) 情報は、提供者のオリジナルか？(引用の場合は引用元を確認する)
- (3) 情報の日付を確認できるか？(いつの情報なのかを確認する)
- (4) 情報の裏づけがとれるか？(他の情報源からも入手する)

他のメディア(書籍、新聞、大学提供情報など)も活用し、安易にインターネットの情報を鵜呑みにしないように心がけることが重要です。また、情報の正確性の確認とともに、断片的な知識による判断、先入観などによる誤った判断をしないように論理的・客観的にとらえるようにします。同時に、自分から発信する情報は正確なものであるよう十分に確認するようにしてください。

また、手軽に、気楽に情報を発信し、コミュニケーションを取ることができる特性にも注意を払わなければなりません。商品につられてアンケートなどで安易に自分の個人情報を書き込んだり、その情報を転売され、被害にあった例も多いのです。

情報を収集している人の顔が見えないインターネットでは、誰が、どんな目的で収集しているかを見抜くことはできません。このことをしっかり意識して判断してください。

誰でも自由にコミュニケーションできるインターネット 相手は誰なの? ——

インターネットでは、「匿名」でのコミュニケーションがひとつの魅力になっています。肩書きや年齢などを気にせずに対することができるのは他のメディアにない特徴ですが、これが悪用されることが多いのも事実です。

ネット上での詐欺、デマの流布、いわれなき中傷などによって、心を傷つけられる人が多くいます。電子掲示板で発言した安直な一言が相手を傷つけ、名誉毀損の訴えを受けた大学生の実例もあります。

一度インターネット上に公開された情報は回収不可能で、心ない一言が被害を拡大することになります。相手が誰であるかわからない危険性に注意することと同時に、自分が加害者にならないよう、発言には慎重になるべきです。

インターネット上の犯罪にまきこまれたら ——

インターネットでの犯罪を回避するためには、日頃からの心がけ以外にありません。起きてからでは遅いと考え、ネット犯罪に関する知識、実態や手口を知っておくようにしましょう。

警察庁や各県警ではインターネット犯罪対策ページで、最新の予防策や犯罪事例検索などの関連情報を公開しています。このようなページで基本的な知識を入手しておきましょう。

しかし、いくら注意をしても犯罪に巻き込まれてしまうことがあるかもしれません。この時には慌てずに、大学の担任あるいは学生センターにすぐに相談してください。



警察庁サイバー犯罪対策のページ
<http://www.npa.go.jp/cyber/>